

くわな市議会だより

平成27年6月定例会号

第14号

発行日 平成27年9月1日

ようかん 「栗羊羹」「栗きんとん」「栗かのこ」

秋といえば“栗”。
栗のもつ自然な美しい色と素朴な味とで季節感を表現したのが特色です。
この季節だけにしか味わうことのできない実りの秋を堪能できる和菓子です。

目次

- | | | |
|---------------------|------------------------------|------------------------------|
| 01 表紙 | 06 総務安全委員会の概要／
教育福祉委員会の概要 | 10 一般質問 |
| 02 政務活動費使途状況を公開します | 07 都市経済委員会の概要／一般質問 | 11 一般質問／
議員研修会を開催しました |
| 03 政務活動費使途状況を公開します | 08 一般質問 | 12 桑名市議会からのお知らせ／
議会活動状況報告 |
| 04 6月臨時会の概要／議員別表決結果 | 09 一般質問 | |
| 05 6月定例会の概要／議員別表決結果 | | |

平成
26年度

桑名市議会

政務活動費使途状況を公開します!!



政務活動費は、議員の調査研究における必要な経費の一部として交付されています。平成26年度の各会派及び議員の支出状況は、次のとおりです。

政務活動費は、一人につき、月額5万円が交付され、残余の額が生じた場合は返還しています。（交付決定額を超えた額は、自費負担しています。）

また、平成26年度は議員の改選年度のため、改選前と改選後で掲載いたします。（なお、12月分の交付はありません。）

【改選前(4月～11月)】

(単位:円)

費目 会派名(人数)	交付決定額	調査研究費	研修費	会議費	広報・広聴費	支出合計	差引残額
		資料作成費	資料購入費	人件費	事務費		
桑風クラブ・無会派 (5人)	2,000,000	115,430	37,620	0	216,000	398,332	1,601,668
		3,073	3,000	0	23,209		
新桑会・無会派 (5人)	2,000,000	1,542	286,256	0	0	356,735	1,643,265
		0	47,640	0	21,297		
フォーラム新桑名 (4人)	1,600,000	208,660	0	0	630,000	961,744	638,256
		0	103,443	0	19,641		
希 望 (4人)	1,600,000	22,738	0	309,522	767,992	1,107,952	492,048
		0	0	0	7,700		
新自由クラブ (3人)	1,200,000	79,415	150,060	0	0	289,808	910,192
		0	52,500	0	7,833		
日本共産党 桑名市議団 (2人)	800,000	7,820	80,818	0	523,843	800,000	0
		40,000	12,387	0	135,132		
公明党 桑名市議員団 (2人)	800,000	141,940	0	0	0	163,041	636,959
		0	21,101	0	0		
市民クラブ (2人)	800,000	0	0	0	0	0	800,000
		0	0	0	0		
絆 (2人)	800,000	0	0	0	0	0	800,000
		0	0	0	0		

調査研究費

市の事務及び地方行財政等に関する調査研究並びに調査委託に要する経費です。

研修費

研修会、講演会の実施に要する経費並びに、他の団体が開催する研修会、講演会等への参加に要する経費です。

会議費

討論や意見交換等に係る各種会議に要する経費です。

広報・広聴費

議会活動及び市の政策等に関し、市民に対して行う広報・広聴活動に要する経費です。

資料作成費

議案審議等の活動に必要な資料を作成するために要する経費です。

資料購入費

調査研究、研修、議案審議等の活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費です。

人件費

調査研究その他の活動を補助する職員の雇用に要する経費です。

事務費

右記以外に必要な事務遂行に要する経費です。

【改選後(平成27年1月～3月)】

(単位:円)

費目 会派名(人数)	交付決定額	調査研究費	研修費	会議費	広報・広聴費	支出合計	差引残額
		資料作成費	資料購入費	人件費	事務費		
桑風クラブ・無会派 (8人)	1,200,000	466,797	163,096	0	0	679,312	520,688
		0	29,574	0	19,845		
フォーラム新桑名 (4人)	600,000	253,350	0	0	0	307,355	292,645
		0	36,207	0	17,798		
新志会 (4人)	600,000	0	0	0	0	38,372	561,628
		0	30,609	0	7,763		
日本共産党 桑名市議団 (2人)	300,000	0	128,092	0	5,832	265,271	34,729
		0	10,228	0	121,119		
公明党 桑名市議員団 (2人)	300,000	126,675	56,296	0	0	186,511	113,489
		0	3,540	0	0		
伊藤恵一 (1人)	150,000	0	0	0	150,000	150,000	0
		0	0	0	0		
水谷義雄 (1人)	150,000	120,292	0	0	0	122,236	27,764
		0	0	0	1,944		
伊藤研司 (1人)	150,000	0	0	0	150,000	150,000	0
		0	0	0	0		
岡村信子 (1人)	150,000	0	0	0	0	0	150,000
		0	0	0	0		

※ 箕浦逸郎議員、小川満美議員については、政務活動費の交付を辞退しています。

6月臨時会の概要

事業費の増額・工事期間の見直し等に、市民へかかる負担を増やさず、あらゆる可能性を追究して現計予算を基本としたことで時間を要し、市として新病院整備に向けた早期着工・完成をするため市議会臨時会を6月8日に開会しました。この臨時会では、「平成27年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算(第1号)」等の7議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・承認しました。

また、「専決処分の報告について」等9件の報告がありました。

議員別表決結果(平成27年6月臨時会)

(市長提出議案7件、報告9件)

区分	番号	件名	桑風クラブ・無党派							フォーラム新桑名			新志会			桑名市議団				合計											
			佐藤肇	市野善隆	中村浩三	富田薫	大森啓	渡邊清司	南澤幸美	飯田一美	松田正美	愛敬重之	倉田明子	伊藤真人	辻内裕也	満仲正次	飯田尚人	大橋博二	星野公平	石田正子	竹石正徳	畑紀子	箕浦逸郎	小川満美	伊藤恵一	水谷義雄	伊藤研司	岡村信子	無党派	賛成	反対
市長提出議案	第61号	専決処分の報告及び承認を求めるについて(桑名市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	22	3
	第63号	平成27年度桑名市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	退	○	○	○	20	4
	第64号	平成27年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	退	○	○	○	20	4

注1) 表決結果の表示について、賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」、退席の場合は「退」、欠席の場合は「欠」、除斥の場合は「除」と表示しています。
注2) 議長は採決に加わらないため、「-」と表示しています。 注3) 上記表決結果は、賛成多数で可決の議案又は否決された議案のみ表示しています。

主な質疑

専決処分の報告及び承認を求めるについて(桑名市国民健康保険条例の一部改正)に対する質疑

Q ◆ 限度額の改正について

A 今回の賦課限度額の引き上げは、応能割(所得と資産の額に応じて賦課される所得割と資産割)と応益割(被保険者一人ひとりにかかる均等割と世帯ごとに賦課される平等割)バランスが変わり、応能割が増えることはないか。

A 今回の改定は、賦課限度額の引き上げと低所得者の保険料負担の軽減の2点。試算によると、応能割と応益割のバランスに与える影響は、国民健康保険加入者の1%ほどの方が負担増になると思われる。

平成27年度桑名市一般会計補正予算(第1号)及び平成27年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算に対する質疑

Q ◆ 契約のあり方について

A 新病院の開院の遅れによる収入減や収支計画に関し責任が持てるのか。

A 着工遅れの責任の一端は市にある。収支計画に関しては、市として確認し責任を持ち示したものである。

Q 一部のテレビで不適切な会計処理の問題報道がされている。この業者と随意契約を視野にしているとのことだが問題はないのか。

A 業者から内容及び事実関係などを確認し、随意契約をしても問題はないと判断している。

Q 3工種の事業費削減の一連の交渉は官製談合にあたらぬのか。

A 弁護士とも相談し法的に問題ないと考えている。

Q ◆ 新病院整備事業について

Q 新病院が債務超過・赤字となった場合、市への影響は。

A 評価委員会が収支を含め運営に関し評価を行い、その評価に対し業務運営の改善や勧告することができるとして、ご指摘のような事態は考えていない。

Q ◆ 工事請負業者の確保について

A 総合医療センターでは、随意契約を視野にいれて考えている。また法的には問題ないと判断した。

6月定例会の概要

6月11日から7月2日までの22日間の日程で開催しました。

今定例会では、「平成27年度桑名市一般会計補正予算(第2号)」のほか、「桑名市市税条例の一部改正について」など市長提案の4議案を審議し、いずれも可決しました。

また、委員会提出議案として「ヘイトスピーチ対策に係る法整備を求める意見書」を可決し、議員提出議案として「平和安全法制関連法案」の慎重審議を求める意見書」等の2件を可決しました。

このほか、「平和安全法整備法案」「国際平和支援法案」に関する請願書については、同趣旨の意見書を可決したことからも、みなし採択し、その他の請願1件を採択しました。

他に「議決事件に該当しない契約の変更について(水道施設流量・残塩計増設及び末端多項目水質監視装置設置工事)」の報告がありました。

議員別表決結果(平成27年第2回定例会)

(市長提出議案4件、報告1件、請願2件、委員会提出議案1件、議員提出議案2件)

区分	番号	件名	桑風クラブ・無会派										フォーラム新桑名			新志会			桑名市議団	日本共産党	桑名市議員団	公明党	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	合計	
			佐藤肇	市野善隆	中村浩三	富田薫	大森啓	渡邊清司	南澤幸美	飯田一美	松田正美	愛敬重之	倉田明子	伊藤真人	辻内裕也	満仲正次	飯田尚人	大橋博二	星野公平	石田正子	竹石正徳	畑紀子	箕浦逸郎	小川満美	伊藤恵一	水谷義雄	伊藤研司	岡村信子	賛成	反対
市長提出議案	第65号	平成27年度桑名市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	22	3
	第68号	市道の認定について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	24	1
議員提出議案	第3号	「平和安全法制関連法案」の慎重審議を求める意見書	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	22	3
	第4号	年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	24	1

注1) 表決結果の表示について、賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」、退席の場合は「退」、欠席の場合は「欠」、除斥の場合は「除」と表示しています。

注2) 議長は採決に加わらないため、「-」と表示しています。

注3) 上記表決結果は、賛成多数で可決の議案又は否決された議案のみ表示しています。

一般会計補正予算の主な内容

●リサイクル推進施設(たい肥舎)解体撤去事業費 (611万円)

リサイクル推進施設(クルクル工房)の中で、使用していない堆肥施設を解体撤去し、借地の返還を行う。

●相談支援等事業費(障害者) (519万円)

障害者やその家族の相談を受ける総合相談センターを増設し、日常生活の不安や悩みを共有し支援を行う。

●教育用コンピュータ整備事業費 (90万円)

小・中学校で使用しているパソコンのフィルタリング対策を行うとともに教員向けに、情報モラル教育に関する研修を実施する。

●マイナンバー制度への対応 (1,013万円)

国が推進するマイナンバー制度の実施に向け、番号連携サーバーの機能強化を行う。

■ 審査案件 委員会開催日:6月24日〔審査件数:3件〕

- 議案第65号 平成27年度桑名市一般会計補正予算(第2号)所管部門
- 議案第66号 桑名市市税条例の一部改正について
- 請願第2号 人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める請願書

主な質疑

平成27年度桑名市一般会計補正予算(第2号)所管部門に対する質疑

◆ 財政調整基金について

Q 市の財政規模に対して財政調整基金の残高はどのくらいを目標としているのか。

A 安定的な財政運営をしていくためには50億円ほどの財政調整基金残高を維持するのが理想であるため、これを目標とした。

◆ ふるさと応援寄附推進事業費(ふるさと納税)について

Q 収入が増加しても、事務処理量の増加や事務費の増額などを考えると費用対効果が少ないのではないかと。

A 桑名市からも他市町村へ相当額の寄附が出ていることを踏まえると、都市間競争に負けないためにも、また、地域経済の活性化の一翼を担うという面でも、このまま進めていく必要があると考えている。

Q ふるさと納税に対するお礼の品

で大きな企業や、既に有名な企業の営業活動に加担するのではなく、もつと他の商品の掘り起こしをして桑名の名前をあげていくべきではないのか。

A まず全国の方に桑名のラインアップを見ていただくためには、どうしても有名な企業のネームバリューを借りなければならぬ部分もあるが、大きな

企業、小さな企業を問わず、オール桑名でラインアップの充実に取り組むたい。

Q 各企業から提供される商品

を組み合わせパッケージにするという考え方はあるか。

A 商品の発送を各事業所に依頼しているため難しい部分もあるが、各企業等に協力をいたしながら魅力あるラインアップを展開していく方法を考えていきたい。

◆ 社会保障・税番号制度システム整備費について

Q セキュリティをどう強化するのかが、個人情報への漏えいを防ぐため、日本年金機構の事例なども参考にしながらセキュリティ強化の方法を精査していきたい。

◆ 防災行政無線整備費について

Q 国庫補助金採択が受けられなかったことに関して、今後計画進行にあたりどう対応していくのか。

A 事業を計画に沿って進めていくため、国庫補助金の採択を受けることができるよう県へさらに強く訴え、要望していく。

◆ 桑名市市税条例の一部改正に対する質疑

Q 改正によるたばこ税の増収見通しは。

A 売り上げ本数が変わらないと仮定した場合、2,100万円ほどの増収を見込んでいる。

■ 審査案件 委員会開催日:6月24日〔審査件数:2件〕

- 議案第65号 平成27年度桑名市一般会計補正予算(第2号)所管部門
- 議案第67号 桑名市障害者総合相談支援センター運営業務委託事業者選定委員会条例の制定について

主な質疑

平成27年度桑名市一般会計補正予算(第2号)所管部門に対する質疑

◆ 相談支援等事業費(障害者)について

Q ケアプランはどの程度つくってもらう予定なのか。

A ケアプランについては、ケアプランの扶助費という別の形だが、月20件以上を設定している。

◆ 土曜授業推進事業について

Q 防災教育というところで非常にいいと思うが、県の予算がなければ長島中学校区のほかでは行わないのかそれとも独自で考えていくのか。

A 防災教育はどの学校も取り組まなければならず、それぞれの学校で取り組んでいる。長島の小・中学校ではこれまでも防災教育に力を入れて取り組んできており、この事業も活用することとなったものである。市教育委員会としては活用できるものがあれば活用をしていきたい。

◆ トイレ改修事業について

Q LGBT(性的少数者)の件で、男女兼用のトイレがあるというのとことなので、今後トイレを設計する際には検討してもらえないか。

A LGBTの対応は非常に重要

と考えている。専用ではないが職員用など多目的トイレがあるところもあるので、そういうものを活用していきたい。

◆ 学習活動推進事業について

Q 特に正和地区を取り上げた理由。

A 北勢地区の人権・向和教育研究指定校として取り組み、昨年には研究発表をしていた。その中で始まった地域とのつながり、小・中学校でつながった取り組みを継続したいという校区の意思と県のこの事業の趣旨が一致したことから事業に参加することとなった。

◆ 桑名市障害者総合相談支援センター運営業務委託事業者選定委員会条例の制定に対する質疑

Q 選定委員には、現場をよく知っていることや設置後に各施設の相互連携が必要となることに鑑みれば、学識経験者等より既存の事業所などが入ったほうがよいのではないかと。

A 選定委員の選出に当たっては、事業所同士の交流等もあるのので、公平に見てもらえるようにと考えている。桑名の相談支援の実態だけではなく、三重県全体を知っている県の相談支援センターや事業所の会計を見てもらえる専門家をお願いしたい。

■ 審査案件 委員会開催日:6月25日(審査件数:2件)

- 議案第65号 平成27年度桑名市一般会計補正予算(第2号)所管部門
- 議案第68号 市道の認定について

主な質疑

平成27年度桑名市一般会計補正予算(第2号)所管部門に対する質疑

◆ 資源物回収事業費について

Q 予算の増額に至った経緯は。

A 平成27年度の予算編成時において市の財政状況に鑑み、これまで世帯数に応じて支給していたリサイクル推進員報奨金を一律2万円の資源物回収自治会協力金に改める方針で平成27年2月の自治会連合会役員会に説明し、理解を求めたところである。しかし、4月の自治会連合会理事会において、平成27年度からの実施では突然過ぎる、1年の猶予がほしい等の意見があり、再度検討を行った結果、平成27年度は従来金額に戻すこととし、今回増額するものである。

Q 平成28年度は減額する予定なのか。

A 早急に自治会と協議の上、減額する方向で取り組んでいきたい。

◆ リサイクル推進施設(たい肥舎)解体撤去事業費について

Q たい肥舎の解体をするのになぜ8カ月程度もかかるのか。また、解体するのに設計が必要なのか。

A 解体工事を実施するに当たっては、設計を行った上で入札しなければならないため、8カ月程度の日数を要する。

Q たい肥舎の解体後、たい肥化を推進していく施策は考えているのか。

A 現在、生ごみ処理機の購入にかかる補助金が1世帯に1台限りとなっているため、耐用年数を過ぎていくものについては2台目の購入も補助の対象となるよう考えていきたい。

一般質問

新志会

大橋 博二

◆ 空き家対策について

質問 空き家等対策の推進に関する特別措置法及び空き家の現状と課題について

答弁 本市の空き家対策の現状は、庁内で調整会議を開き、現状把握・情報共有を行っているものの、担当窓口が分かりづらいとの意見もあり、早急に改善すべき課題である。今後は特別措置法の規定に基づき対策を実施していくことから、国や県、他市町の動向を注視し、取り組みたい。

◆ 障害者医療について

質問 医療的ケアが必要な障がい児支援について

答弁 かけがえのない命を守り、ケアの必要な障がい児・者の方やご家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、相談支援の充実やショートステイ等の整備を推進するなど、施策を推進していきたい。

桑風クラブ・無会派

飯田 一美

◆ 人権問題について

質問 差別事象発生について

答弁 本市は「人権尊重都市宣言」「桑名市における部落差別撤廃及びあらゆる差別撤廃に関する条例」に基づき、人権問題の解決に向け取り組んできた。本年1月から市内で複数回、人権を無視した差別ピラがまかれており、非常に怒りを覚える。今後も引き続き人権問題の解決に向け啓発活動に取り組んでいく。

質問 人権教育について

答弁 本年3月新たに策定した「桑名市人権教育基本方針」は、「人権教育を基盤とした学校づくり」「人権文化を実現する地域づくり」を目指している。人権教育の目的は「全ての子どもが豊かな未来を拓くことのできる力を身につける」ことであり、今後この方針のもと取り組んでいく。

一般質問

公明党桑名市議員団 畑 紀子

◆18歳選挙権について

質問 選挙権年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げる公選法改正案が成立、来夏の参議院選挙から適用される。①周知について②見解について問う。

答弁 ①18歳から投票できることはもちろん、選挙運動時の禁止行為の周知も必要。社会の一員としての自覚を促し選挙や政治に関心をもてるような機会の提供に努める。②70年ぶりの法改正をきっかけに若者の投票が増えるようPR方法を工夫し取り組む。

◆認知症対策 地域での見守りについて

質問 認知症による徘徊が原因の行方不明者は年間1万人。認知症徘徊高齢者対策として地域で捜索する模擬訓練の必要性と見解について問う。

答弁 現在、模擬訓練の検討を開始しており、計画がまとまり次第実施を行っていく。

フォーラム新桑名 倉田 明子

◆「歴史・伝統・文化」としての米飯給食について

質問 米飯給食は栄養バランスが良く桑名産の食材は米飯給食によく合う。国は週3回の米飯給食を推進、週4回以上実施校は全国で30%に上るが桑名は未だ2.5回。世界遺産でもある和食。市の所見を問う。

答弁 和食文化の伝承という意味合いからも、ご指摘の重要性を認識している。米飯給食の回数増も今後、和食給食献立等と合わせて研究を進めていきたい。

◆情報セキュリティ対策について

質問 日本年金機構がサイバー攻撃の標的にされ125万件に及ぶ個人情報流出した。マイナンバー制度導入を目前に控え市の危機管理体制を問う。

答弁 個人情報はインターネットに接続されていない環境で管理するなどの対応を徹底するほか、より一層の職員のセキュリティ意識高揚に努めていく。

無会派 伊藤 恵一

◆学校道徳の目的は盲目的積極的侵略主義学生育成!?

質問 日本一不道徳な安倍晋三内閣予算による道徳とは。

答弁 価値観の一方的押付でなく、子らの個性伸張とよりよく生きる喜びを感じられる様推進して参りたい。

◆図書館の論理・PFIの嘘

質問 羽仁五郎初代参議院図書館運営委員長の原案・法前文主旨よりPFI図書館の実態と本質を明らかにする。



国立国会図書館法前文

PFIは市直営より21億円のコストダウンとの宣伝だが、PFI施設を買えば逆に直営で45億円(安く)財源が生れたのでは!?

答弁 市直営よりPFIは7.9億円の金利負担増だが、直営よりPFI事業全体で21.5億余の削減効果が有。

日本共産党桑名市議員団 石田 正子

◆子どもの健康について

質問 どの子ども安心して治療が受けられるようにするために医療費助成の拡大を。

子どもの医療費の窓口での無料化を全中学生まで対象にできないか。

答弁 医療機関窓口での無料化の実施については、利用者の窓口払いをなくして医療費のすべてを現物給付化するとコンビニ受診が増え医療費が増加すると言われており、さらなる財政負担の増加が懸念される。窓口無料化を実施していない市町村との公平さを欠くことにつながる。国民健康保険の国庫負担金が減額調整される可能性がある。三重県では、実施するとしても県下一斉で実施し、その継続性が保たれなければ実施できないとの考えに立った指導がされている。市の財政状況を踏まえて慎重に判断する。

一般質問

フォーラム新桑名 松田 正美

◆若者の政治参加について

質問 公職選挙法が改正され、選挙権が18歳以上に引き下げられる。18歳と19歳の未成年者240万人が新たに有権者となる。若者の政治参加を促すために市と教育委員会の考えを聞く。

答弁 市では新たに約3,000人が有権者となる。選挙の模擬投票に対する協力など、小・中高生を対象とした啓発活動に取り組んでいる。また、ある小学校では実際の投票箱・記載台を社会科の授業で活用するなど、選挙を通して政治に参加することの大切さを考えさせている。昨年度の市議会選挙の際には選挙公報を示し、実際の選挙がどのように進められているかを学習した中学校もあり、政治の中立性を保ちながら政治や選挙が自分たちの生活に繋がっていることなどを学習させていきたいと考えている。

桑風クラブ・無会派 市野 善隆

◆緊急漏水対応等について

質問 桑名地区では水道管路ループ化等が必要と考える。漏水時に断水区域が広範囲となる。

答弁 ご指摘のように桑名地区では漏水事故による配水停止時に広範囲の断水が発生する可能性がある。配水管路のループ化を基本とした施工を進めていく。

◆長島B&G海洋センター体育館長期休館について

質問 昨年7月中旬に天井部材が落下し、休館が2年の長期にわたると考えられ利用者・市民サービス等に大きな影響を与えている。改修の際、プールも含めトイレの洋式化も検討すべきではないか。

答弁 長期の休館状態にお詫び申し上げます。改修にあたってはB&G財団の助成金活用を考えており、トイレ洋式化も同時期に行うのが適切と考えている。

日本共産党桑名市議団 星野 公平

◆「地方創生」について

質問 プレミアム商品券の販売は平等性に欠ける。

答弁 主体は「桑名プレミアム商品券実行委員会」であり、早期の販売に踏み切った。アンケートを集計し、購入状況や効果を分析する。

質問 「総合戦略」作成に向け、「桑名市地方創生会議」が開かれたが、広く住民の意見を聞くのか。

答弁 今後の取り組みの進捗を見ながら検討する。

質問 ブランド推進で「地方創生」はできるのか。

答弁 ブランド推進事業は、地域のブランド化が地域の活性化において有効と考え進めている事業。事業でもたらされる桑名の魅力や価値を市内外の人々に伝え、体感、実感してもらうことを繰り返す事によって地域ブランドが生まれ、地方創生に繋がっていく。

公明党桑名市議員団 竹石 正徳

◆空き家対策について

質問 空家等対策の推進に関する特別措置法の制定を受けての取り組みについて

答弁 近隣住民へのフォローについては、今後の対処方針などの情報を、近隣住民に提供できる仕組みづくりも研究していく。

◆子どもの貧困対策について

質問 「子どもの貧困対策大綱」の主な重点施策の取り組みについて

答弁 県教委にスクールソーシャルワーカーの派遣を要請し、教育と福祉にわたる支援を行う。貧困の連鎖で子供達の将来が閉ざされないよう、環境整備に向け取り組む。また、母子・父子自立支援員は、生活・経済面等の相談を受け、自立に向けた支援を行い、子育てと就労が適切な環境で行えるよう努める。

一般質問

桑風クラブ・無会派 大森 啓

◆公共施設マネジメントについて

質問 桑名市の各計画・事業などについては、市民協働の進展が不可欠とされており、地域の市民の皆さまや各団体関係者の方々の意見を聞いたり、擦り合わせをしたりする重要性は高まる。公共施設の統廃合を目指す公共施設マネジメントとの整合性について、具体的に問う。

答弁 公共施設マネジメント事業は施設の統廃合、多機能化、立地の問題など、まちづくりや地域の活動とは切り離せない。統廃合に際しては、公共施設を利用される市民の皆さまには大きな負担となるため、広く市民の皆さまの意思や意向を反映させる必要がある。また施設のより有効な活用についても検討し、公民連携の手法を導入するなどして、必要性の高い公共施設サービスの維持に努める。

無会派 小川 満美

◆認定こども園について

質問 「桑名市就学前施設再編実施計画」では、光風中学校ブロックは、「平成29年度に精義幼稚園と修徳幼稚園の2園の再編に伴い、厚生館保育所を中心とした認定こども園を目指す」とある。再編計画どおりに認定こども園を設置できるのか。

答弁 平成29年度の光風ブロックの厚生館保育所を中心とした認定こども園の設置は、地理的利便性が損なわれない方法、今後の社会情勢に即した新たな方向性をあらゆる角度から検討するため延期したい。平成30年度の山崎乳児保育所を中心とした陽和ブロックについても延期したい。

再質問 いつまで延期するのか。

再答弁 延期する時期については、未定である。

桑風クラブ・無会派 富田 薫

◆少子高齢化・人口減少問題について

質問 空家問題の市民窓口はどこか？

答弁 早急に窓口の一本化を進め、窓口を明確にする。

質問 空家の有効利用についての考えは？

答弁 高齢者・障がい者の互助ハウス・子育てママの情報交換の場・高齢者の集いの場など地域活動の拠点となるような空家有効活用については「税制優遇措置」と合わせて検討する。

質問 宅老所・集いの場などの今後の整備計画は？

答弁 高齢者サロン等の開催場所とし「地域資源としての空家」の活用も有効と考えている。住民主体の通いの場がつくられるよう、できる限り支援していく。

質問 今後の学童保育の設置について市の対応は？

答弁 今後の利用状況を勘案しながら既存施設の受入れ拡大や新たな設置を検討していく。

無会派 箕浦 逸郎

◆入札制度について

質問 入札において予定価格の事前公表と、最低制限価格を導入していることにより、企業の競争性が適切に発揮されていない状況が発生している。これらの弊害についてどう考えているのか？

答弁 業者による不正な接触を防止する観点から、これらの制度を導入している。

◆特別養子縁組について

質問 保護を必要とする子どもが家庭で育つことができるように特別養子縁組を推進することが必要だと考える。市の特別養子縁組に対する考え方は？

答弁 研修会などを開催し、養子縁組も含めた里親登録者の増加に努めるとともに、広報等で里親制度の周知に努めてまいりたいと考えている。

一般質問

桑風クラブ・無会派 中村 浩三

◆サミット三重県開催

質問 市としての関わり方とサミットの分科会の桑名への誘致について

答弁 三重県ではこの機会に県をPRする事業を計画している。経済効果は県内だけでも130億円に上るとも試算されている。本市としてもサミット開催の経済波及や知名度向上の効果を享受できるように、今後アンテナを高く上げ情報収集していく。過去の開催例としては、サミットの開催地以外に来日した主要国の子どもたちとの交流やサミットのテーマを学習する機会を設けた「ジュニアサミット」、首脳の夫人らが参加する「配偶者プログラム」などが開催されている。これら各種会議の誘致も選択肢の一つとして視野にいれながら、サミットにどのようにかかわることが効果的なのか検討していく。

無会派 岡村 信子

◆諸戸徳成邸について

質問 2月17日市長記者会見「市所有」の真意は。

答弁 文化庁「近代の庭園・公園等に関する調査研究報告書」で歴史的価値有と位置付けられている。

質問 著しく老朽化し学生時代には「お化け屋敷」といって近くを通学していた。市長は、前市長時代に「箱物行政」反対として議論をしてきたのに真逆。文化財だけでは桑名市は食ってはいけず財政運営はできない。ブランド・ブランドといって市政を運営できるのか。一旦は、マンション計画がされ事業が頓挫した土地。金持ちの税金逃れを助けてはいけない。六華苑でも運営していく上で大きな財政負担を強いられている。同じ「轍」を踏むつもりか。

答弁 六華苑も多額の経費がかかっているのは事実であり、運営等にあたり慎重に考えていく。

議員研修会を開催しました



7月28日、前全国都道府県議会議長会議事調査部長の鵜沼信二氏を講師にお招きし「地方議会・議員に求められる役割・権限と議会活動について」と題して講演をしていただきました。

議会の活動と意義を住民に知っていただくとともに、誇れる議員、議会として活動していく必要があることを学びました。



無会派 伊藤 研司

◆義務教育のありかた。多様な教育機会確保法案から

質問 日本の教育は、全体の底上げする能力は、素晴らしい。しかし、それぞれの個性を伸ばす教育実践には、いかがか？と思える点もある。

子どもにはそれぞれの能力・欠点がある。しかし欠点も個性と認めた上で、個々に備わった個性を伸ばす教育実践が大切と考える。

答弁 「各児童・生徒の有する能力を伸ばす」という点は非常に大切な柱の1つである。それぞれの学校が、子どもの暮らし、物事に対する興味・関心、得意なこと・苦手なこと、頑張りたいこと、将来の夢、どれも一人ひとりに違いがあることを十分理解し、学校がその違いを互いに認め合い、補いながら、子どもたちが、それぞれの個性を大切に心豊かに成長する場となることが重要と考えている。

桑名市議会からのお知らせ

9月定例会 開催日程(予定)

9月定例会が、9月2日(水)～10月1日(木)の30日間の予定で開催されます。

- 9月2日(水)
本会議(議案上程・提案説明)
- 9月8日(火)～11日(金)
本会議(議案質疑・一般質問)
- 9月14日(月)～18日(金)
常任委員会・特別委員会
- 10月1日(木)
本会議
(委員長報告・討論・採決)

本会議・委員会の放映について

右の手順により、インターネット放映をご覧いただくことができます。

※ご使用の環境によりご覧いただくことができない場合があります。
※アップル社のパソコンをお使いの方は、「フリップ4マック」をインストールする必要があります。

桑名市議会 トップページ

「市議会インターネット映像配信」をクリック

「市議会インターネット映像配信」
<http://www.kuwana-city.stream.jfif.co.jp/>
をクリック

傍聴してみませんか

本会議や各常任委員会、特別委員会などの会議は傍聴できます。日程はこの市議会だよりや市議会のホームページに掲載しています。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局にご確認のうえ、お気軽にお越しください。



議会活動状況報告

※定例議会中の定例議会にかかる会議は省略しています

6月

- 1日 議会運営委員会
桑名・員弁広域連合議会第2回臨時会
全国自治体病院経営都市議会協議会
第73回理事会・第43回定期総会
- 2日 全員協議会
総務安全委員会協議会
- 4日 各派代表者会議
議会運営委員会
リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会
- 8日 6月臨時会
- 10日 広報広聴委員会
- 11日 6月定例会(閉会7月2日)
- 17日 全国市議会議長会第91回定期総会

7月

- 3日 木曾三川公園建設促進下流域
期成同盟会通常総会
- 7日 桑名広域清掃事業組合議会臨時会
- 8・9日 総務安全委員会視察
(東京都武蔵野市、江戸川区)
- 13・14日 教育福祉委員会視察
(京都府長岡京市、奈良県奈良市)
- 15・16日 都市経済委員会視察
(静岡県浜松市、東京都足立区)
- 17日 北勢5市議会懇話会
- 22日 議会改革検討会
広報広聴委員会
- 28日 教育福祉委員会・協議会
総務安全委員会
議員研修会

7月

- 28日 議会運営委員会
- 30日 広報広聴委員会
- 31日 各派代表者会議

8月

- 3日 全員協議会
- 5日 都市経済委員会
広報広聴委員会
- 12日 北勢5市議会合同研修会
- 18日 議会改革検討会
教育福祉委員会
- 21日 総務安全委員会
- 24日 全員協議会
- 26日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 27日 桑名・員弁広域連合議会第2回定例会
桑名広域清掃事業組合議会第2回定例会

広報広聴委員会
委員長 伊藤 真
副委員長 石田 正子
委員 小川 美
委員 市野 善隆
委員 愛敬 重之
委員 畑 紀子
委員 満仲 正次

小川 美
市野 善隆
愛敬 重之
畑 紀子
満仲 正次

虫の声に秋の訪れを感じるころとなりました。秋になると木々は実をつけ、動物や虫たちはその実を食べて冬に備えます。今回表紙で紹介した和菓子は、秋を代表する木の実「栗」を使ったもので、お口の中から季節を味わっていただけのことでしょうか。
また、これからは台風が多くやって来る季節です。備えは十分に心がけてください。

編集後記

皆様のご意見をお寄せください

市議会や市議会だよりに対するご意見、ご要望等がございましたら、議会事務局までお寄せください。

桑名市議会事務局

〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話：0594-24-1304 / 0594-24-1305
FAX：0594-24-1359
メールアドレス：gikaijm@city.kuwana.lg.jp

お問い合わせ

市議会の詳しい情報は桑名市議会のホームページをご覧ください。

桑名市議会

検索